



## 目次

- 患者満足度調査 ..... 2～3
- ネットワーク
  - 市瀬整形外科 ..... 4
  - 中塚内科循環器科医院 ..... 5
- 助産師外来からのお知らせ ... 4～5
- 家庭でできる  
リハビリテーション ..... 6
  - 「関節リウマチ」  
関節の状態を守るには I
- 検査の窓 ..... 7
  - 貧血について
- 話題の広場 ..... 7
  - 新任看護師研修
  - ハンドマッサージ
  - 「混声合唱 コールハイネ」コンサート
- ご案内 ..... 8
  - 8月より医療費の負担割合が  
変わる方がいます
- 職場紹介 ..... 8
  - 手術室の紹介
- 新任医師の紹介 ..... 8

### 飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康と快適な生活を支える病院を目指します

### 飯田市立病院 基本方針

- 1 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、地域の皆さんに信頼される医療を行ないます
- 2 私たちは、高度で良質、安全な医療を提供します
- 3 私たちは、中核病院として、地域の医療機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な経営に努めます

### 飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意・熱意・創意をもって患者さんに接します

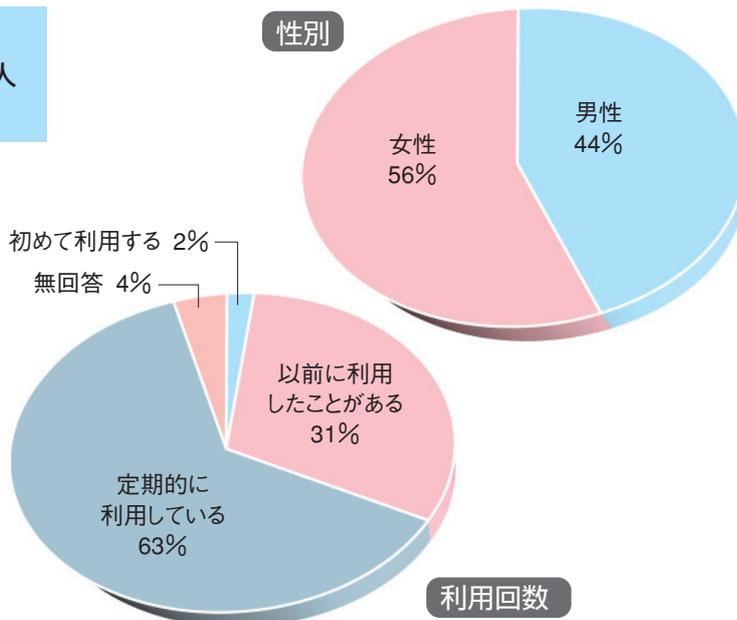
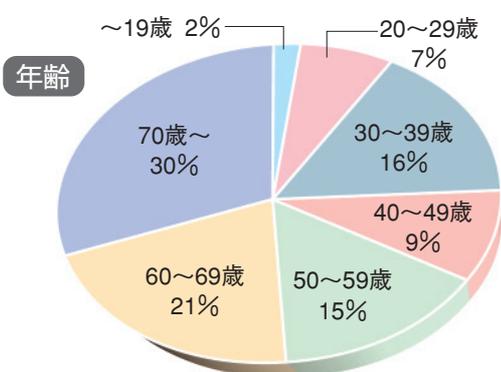
外来患者さん  
入院患者さん

# 患者 満足度調査

医療サービス推進委員会では、2月にアンケート調査を実施しました。  
多くの皆様のご協力に感謝いたします。

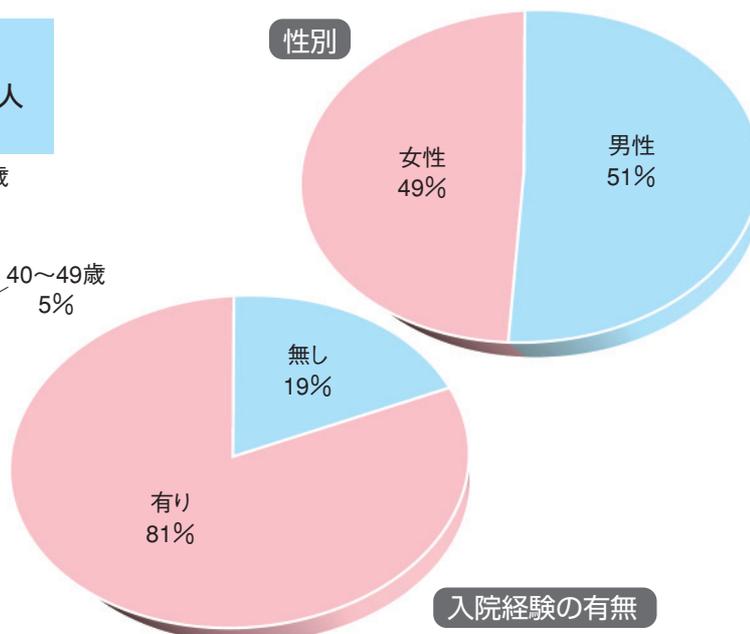
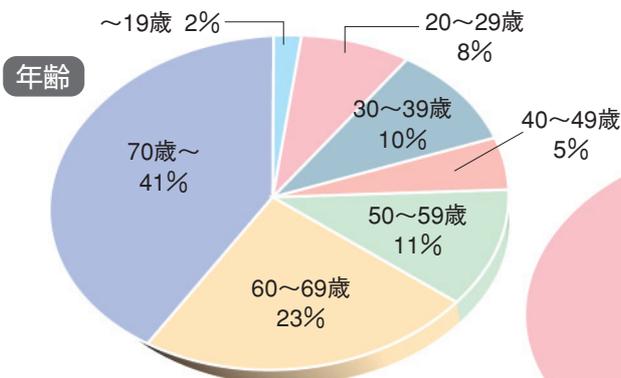
## 外来

対象者 570人



## 入院

対象者 244人



## ❖満足度について

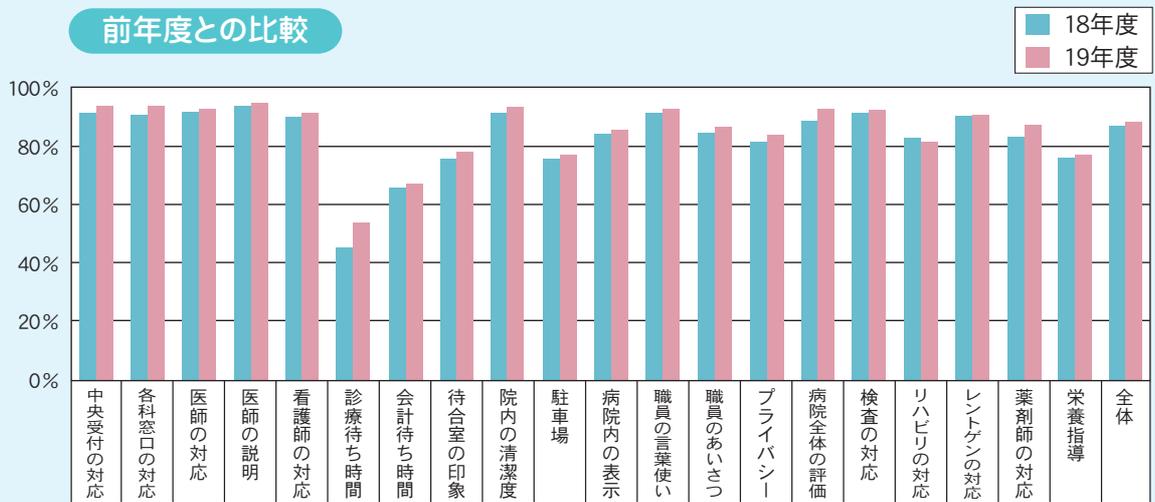
本調査では5種類の評価項目の内「満足」「一応満足」と回答された数を「満足度」として数値化しています。

(評価項目：満足・一応満足・どちらともいえない・やや不満・不満)

- ①満足度が最も低い項目は「診療待ち時間」で54%でした。しかし、各部門で待ち時間を減らす取り組みをした結果、前年度に比べて満足度が9%上昇しました。
- ②受付、各科窓口、医師、看護師の対応、院内の清潔度、職員の言葉づかい、検査・レントゲンの対応は90%以上の方から満足の評価をいただきました。
- ③全体の満足度は前年度に比べて1.2%上昇しました。

前年度との比較

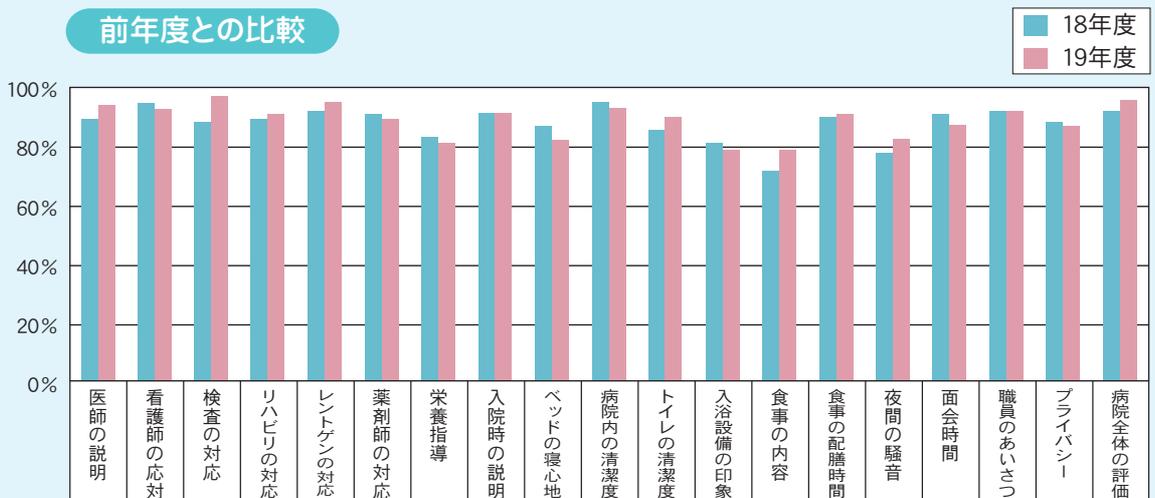
## 外来



- ①満足度が低い項目は、「食事の内容」で79%（前年度は72%）で、次は「入浴設備の印象」79%でした。
- ②全体の満足度は前年に比べ4%上昇しました。
- ③ご意見として多かったのは施設に対する要望で、その中でもトイレに関する要望が一番多くありました。

前年度との比較

## 入院



### 患者さんからの要望により昨年度行った施設改修工事

- ◎外来トイレ改修工事
- ①正面玄関横トイレ……和式トイレを洋式化4ヶ所（洗浄便座設置）  
既存洋式トイレに洗浄便座を設置2ヶ所
  - ②小児科外来前トイレ……和式トイレを洋式化4ヶ所（洗浄便座設置）  
既存洋式トイレに洗浄便座を設置2ヶ所
- ◎6階西病棟浴室改修工事 浴室利用者が使いやすく、安全に使用できるように改善するとともに、介護スペースを拡充するため、
- ・既存浴槽を撤去し、シャワーバスに改修。
  - ・浴室と脱衣場の段差の解消と車椅子患者の安全な出入りのため扉の開口を広くした。
  - ・換気暖房設備を設置し、快適な入浴空間の充実。

外来・入院ともに、評価が低かった項目につきましては、ご意見、ご要望を参考にさせていただき施設の改修も含めましてさらに改善に努めてまいります。



(市瀬整形外科外観)



(名勝 天竜峡)

# ねとく ねく



## 市瀬整形外科

名勝天竜峡の地に市瀬整形外科を開業したのは昭和54年で、29年経過しました。その間の医療は日進月歩で、医科点数表の解釈本（通称・アオ本）は倍以上の厚さになり、ますます複雑になりました。その上煩瑣な手続きも増えて医療事務方もその対応におわれてきました。当院は日曜日に診療しています。院長が東京女子医大第二病院の非常勤講師をしていた時、水曜日の整形外科教授の回診・症例検討会に出席するため、水曜日を休診にして日曜日を診療日にしました。非常勤講師退任後も患者さんの利便性を考えて日曜日

の診療を続けてきました。当院は飯田線沿線にあり、北は辰野から駒ヶ根、特に南は医療施設が少ないため水窪、佐久間からの患者さんが多く受診されます。19床の小さな施設ですが骨折はもちろん、膝、股関節の手術、さらに高度な専門性を必要とする患者さんには、それぞれの分野の専門医を招き手術を行っております。院長が四月から飯田医師会会長に就きました。急な休診、診療の時間が不規則になり患者さんにご迷惑をおかけしています。事情をご理解頂ければ幸い

に思います。日頃気づかないことですが、飯伊地区は病診連携が磐石であることから医療難民がいないと思います。その中核をなすのが飯田市立病院であり、安心して安全な生活が保たれていると思います。

(文：事務長 竹田信夫)



市瀬先生(前列中央)とスタッフの皆様

所在地	〒399-2431 飯田市川路4825	
	☎0265-27-3311	
院長	市瀬武彦 (医学博士、整形外科認定医、認定産業医、認定スポーツ医)	
診療科目	外科 整形外科 リハビリテーション科	
受付時間	8:30~12:00、15:00~18:30 (土・日曜日 一日診療しています)	
往診	有	
休診	火曜日午後・水曜日	駐車場 有



## 助産師外来からの おしらせ

救命救急センター内の待合室と診察室の一部を利用して助産師外来を開設していましたが、産婦人科外来との距離があり、医師による診察が必要になった場合に妊婦さんにご負担をおかけしておりました。また、4月

以降当院の妊婦健診数が増えることが予想されたので、産婦人科外来に近いところへ助産師外来を移転いたしました。

妊婦さんには今まで以上に、安心して健診を受けていただく事ができるようになりました。



## 登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

信州大学医学部を卒業後、信州大学附属病院医局に入局し、豊科赤十字病院、東長野病院等を経て、開業前は伊那中央総合病院で4年半循環器科医長として勤めてまいりました。10年前地元である松川町に開業し、現在は、かかりつけ医、学校医、産業医として地域に根ざした医療に日々取り組んでいます。循環器科専門医として高血圧治療をはじめとする心臓病の治療・管理のほか、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病からアレルギー疾患、小児などの診療を行っております。検査としては心エコー、腹部エコーなどの超音波

## 中塚内科循環器科医院

(松川町元大島)



## 開業10年目を迎えて

中塚内科循環器科医院 院長 中塚 龍也

検査、胃カメラなどのほか、特定検診をはじめ一般検診も受け付けております。日頃の診療で心がけていることは、患者様との対話をしっかり行い、スタッフの協力を得て、患者様に納得していただける医療を提供することです。但し開業医として行える医療には限界もあり、地域に信頼できる中核病院があることは大変心強い限りです。今般医師不足の問題もありますが、飯田市立病院様にはこれまでどおり地域の中核病院としてご活躍していただき、私も病診連携を密にとりながら、開業医でなくてはできないきめこまやかな

医療を提供することで、地域医療の一端を担っていきたくと考えています。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



中塚先生(前列中央)とスタッフの皆様

**所在地** 〒399-3303 松川町元大島3775番地3

☎0265-34-1188

**診療科目** 内科 循環器科 小児科 アレルギー科

**受付時間** 8:30~11:45、14:30~17:45

**往診** 有

**休診** 水曜日午後・土曜日午後・日曜日・祝日

**駐車場** 有



**場所** 外科外来向い側(図参照)  
**内容** 診察室3室 (拡大図参照)  
 エコー室1室  
**職員体制** 助産師3人、  
 臨床検査技師  
 (エコー担当)1人



### 「関節リウマチ」 関節の状態を守るにはⅠ

関節に炎症が続いて、関節が徐々に破壊されやがて機能障害を起こす病気が「関節リウマチ」です。関節リウマチの発症のピークは30～40歳代で、性別では女性に多く、男性に比べ5～6倍の発症となっています。特徴的な症状は「関節の腫れ」です。最も起きやすいのが手首や手足の指の関節です。

**病院でのリハビリテーションに加えて、自宅で関節の状態を守るための体操を続ける事が効果的です。**

◎朝夕に、こわばりかけている関節をほぐすように毎日続けましょう。

◎1つの動作を2～3回としましょう。特に入浴後は効果があります。

#### 首の運動

首の運動に関しては主治医に相談してください。



まっすぐ前を向いたまま、あごを引き二重あごをつくります。その状態を約3秒間保ちます。



力を抜いて、ゆっくり元に戻します。



上から引っ張られているように、できるだけ首を伸ばします。これを3～10回繰り返します。

#### 肩の運動



腕、脚を伸ばしたまま、あおむけに寝ます。



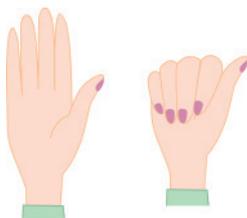
右腕を肘を曲げずに上にあげます。



そのまま、腕をできるだけ頭のほうへ持っていき、ゆっくり元に戻します。左腕も同様に行います。これを交互に3～10回繰り返します。

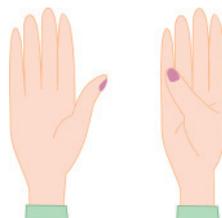
#### 指の運動

親指以外の指の運動



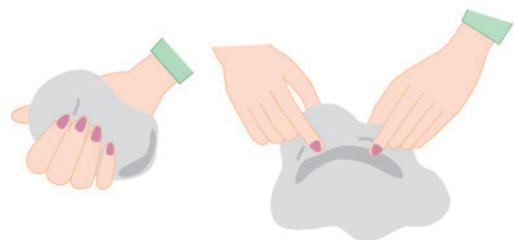
指先をできるだけ手首に近づけるように曲げます。右手左手とも3～10回繰り返します。

親指の指の運動



親指を小指の第2関節につけるように曲げます。右手左手とも3～10回繰り返します。

#### 指先の運動



手指の力が気になる方は、柔らかいボールか粘土を握る動作で指先の力の運動をしてください。

※次回(秋号)は「関節の状態を守るにはⅡ」を掲載いたします。

## 検査の窓

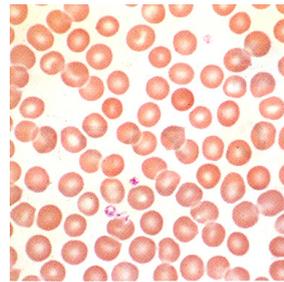
その10

血液の中には赤血球、白血球、血小板という3種類の細胞があり、貧血とはこの赤血球数、または赤血球の主な成分であるヘモグロビン（血色素）が減少した状態のことをいいます。

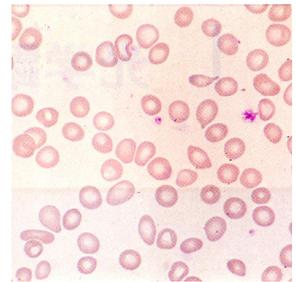
貧血といってもその原因は様々で、原因によって治療法が異なるばかりでなく赤血球形態（大きさ）にも違いがでてきます。この大きさの違いが貧血を分類する目安のひとつになります。頻度としては鉄欠乏性貧血が最も多く、慢性出血がある場合も鉄欠乏になります。ある種のビタミンの不足や吸収障害、赤血球を増加させるホルモン（エリスロポエチン）を産生する腎臓や、血液が作られる骨髄の機能不全でも貧血になります。また、赤血球が壊される状態（溶血）があっても貧血となります。

## 貧血について

赤血球は全身の細胞に酸素を送り届ける役割をしていますから、貧血の状態が続くと細胞は酸素が不足となり活動に支障をきたしかねません。また貧血は症状のひとつであって別の病気が隠れているということもあります。たかが貧血と思わずに、検診などで指摘されたことがある方は医療機関での精査をおすすめします。



正常時赤血球



鉄欠乏性貧血時赤血球

## 話題の たば

### 新任看護師研修 4/10(木)

当院の安全基準に基づいた看護技術を取得することを目的に、新任看護師の研修が開催されました。研修の内容は、「腕シミュレータ」を使用した点滴留置針の確保と固定、参加者同士による採血と血糖測定を行いました。参加者からは、「手順の根拠がよくわかった」、「血糖測定は自信が持てた」などの声が聞かれました。今年度は新しい取り組みとして、研修医がこの研修に参加しました。



## ハンドマッサージ

5/12(月)

「看護の日」にちなみ、玄関ホールにて患者さんや病院利用者の方にハンドマッサージと血圧測定などを行ないました。「気持ちよかった」「自分ではなかなか出来ないのでうれしい」といった感想が寄せられました。また、看護師も「ナイチンゲールの看護の日をアピールできてよかった」と行事の成功を実感しました。



## 「混声合唱 コールハイネ」コンサート 6/26(木)

平成3年に竜峡中学校PTAコーラスとして発足し、今年で18年目を迎えたコールハイネ（平成15年にPTAコーラスを改称した）の皆さんによる混声合唱を披露していただきました。明るく、楽しく、和やかに「モットー」として練習をされているとのことで、当日は楽しく、素晴らしい歌声を聞くことが出来ました。



## ご案内

## 8月より医療費の負担割合が変わる方がいます

8月から医療機関の窓口でお支払いいただく医療費の負担割合が変わる方がいます。これは前年度の所得額が「増えた」または「減少した」場合にその対象者となります。市町村より発行されている後期高齢者医療被保険者証保険証（オレンジ）、

国民健康保険高齢受給者証（市町村によって色が異なります）、福祉医療費受給者証（わかくさ色）、標準負担額減額認定証（白色）等をお持ちの方はご確認をお願いします。新しい受給者証等が発行された方は、来院時には必ず中央受付にご提示いただ

きますようお願いいたします。

また、これに限らず毎月「保険証」や「各種受給者証」を確認させていただいておりますので、提示にご協力いただきますようお願いいたします。

## シリーズ ● 職場紹介 ● その19

## 【手術室の紹介】

手術室は8部屋と血管撮影室1部屋があります。スタッフ数は麻酔科医3名、麻酔科後期研修医2名、看護師23名、看護助手2名です。年間に4200件の手術（心臓血管カテーテル検査・治療、脳血管撮影500件を含む）を受け入れています。そのうち、全身麻酔手術は42%を占めます。緊急・準緊急手術の割合は28%になり、そのことから、常に緊急手術に対応できる体制を整え、医

療チームと連携を図り、安全かつ質の高い医療を提供する手術室を目指しています。

また、周手術期を通して、患者さん個々に適した看護が提供できるよう、術前訪問を行い、患者さんの不安が軽減し、安心して手術が受けられるよう支援しています。そして、手術中には、待機しているご家

族の方へ、進行状態を知らせています。手術後は、患者さんを訪問し、その声から実践した看護を振り返り、次の機会に活かす様にしています。



## あ と が き

地域の皆さんからの病院の評価は、私たちにとって大変気になるものです。年に1回の満足度調査の結果やご意見箱に頂くご提言にはいつも一喜一憂してしまいます。厳しいご意見やお叱りをいただく一方で、感謝や励ましのお言葉をいただくこともあり、とても元気付けられます。病院ではこれからも医療の質を上げる努力に加えて地域の皆さんのお役に立てるような様々な情報を提供していきたいと考えています。皆様にも気軽に率直なご意見をお寄せ下さいますようお願いいたします。 編集委員 羽生憲直

## 新任医師の紹介

平成20年4月2日～6月30日



外科  
阿藤 一志  
(あとう かずし)  
平成13年卒業  
平成20年5月1日着任  
前勤務病院  
県立阿南病院